

建まちセミナー長野 in 稲荷山 2018.09.07～8

■第1講座 設計者の直営分離発注とCM 杉山真講師・石川支部

以前から富山支部の方から少し話を聞いていた分離発注とCMについて、メリット・デメリットがより詳しく知ることができました。現在200くらいの加盟店のある「イエヒト」のオープンシステムがあること、価格をオープンにしたシステムで実際に、顧客がネットから得られていて、時代に合った方法であることも知ることができました。

実際に杉山さんが手掛けた作品で、デザインやこだわり、丁寧につくっていくことにおいて、施工者との折り合いが難しくなってきたことがきっかけ、というのが印象的でした。

丁寧に、楽しく、時間をかけてつくり、お互いを信頼して、WINWINの関係をつくる。そんな家づくりをしておられることが、よくわかりました。

■第2講座 モノづくりからはじまるコトづくり 加藤寿泰講師・岐阜支部

ブルックリンハウスの魅力と、衣食住について、熱く語ってくれました。

ジーンズやフローリングのビンテージ加工のお話や、化学物質を使わない自然塗料などを使って、サーフィンハウスなど作っておられるとのこと。テラスのようなベランダ（1階、屋根あり、玄関先、居間ともつながる空間）が素敵でした。

■第3講座 すがかわ民話の里づくり 外山俊講師・長野支部

元区長さんの活動記。民話30話でのまちづくり、英訳などをしてみたり、組織をつくって糧を得るために、いろいろと模索してきたことを、丁寧に語っていただきました。

■第4講座 20世紀の建築空間遺産 小林良雄講師・東京支部

連載の詳細を、その1、として語っていただきました。

丹下の香川県庁舎とアアルトの図書館とのプランの類似、ロビー邸の影響がミースの作品へ流れていることなどがおもしろい連載です。

ウィーン郵便貯金局・ロビー邸・シュレーダー邸・パウハウス校舎・チューゲンハット邸・サヴォワ邸・エイヘンハルト集合住宅・ブリッツジードルング、について詳細にお話しくいただきました。

■ 見学会：松代町の大島博光記念館、松代大本営象山地下壕内部







